

(火曜日) 第5094

家庭電化しても農村は嫁不足

おひまく、また一方では、生活に一
度もとがてめたのだから、お中
元お歳暮のやうなつづらにはあ
つてもこのじまほんかといふ考
え方も多くなつてゐるようだよ。
いわばいじめ、贈るぐま筋合に
は無理でない範囲のものを贈つ
てこちらの気持をも窺つたのがよ
いわけですが、お中元の品詮びや
エチケットよりつい、注意がくわ
いと想ねてお送りした。

今年はとにかくサリーネ的な
の、室内用品が豊富に用意されて
います。こうしたものは價段の見
当がつかないこと、見た目にしゃ
れしていることなど気をひかれが
ちですが、先方の好みや生活環境
に合うかどうかという点で、選ぶ
には慎重を期さなければなりません
でしょう。

喜ばれる贈物とは、先方が欲し
がっていたもの、たまごも困ら
ないもの、贈る事が苦しくないも
のですし、その家庭の生活経験に
合わせなければなりません。そう
した意味では平凡でも食料品や石
けん、洗剤などの消耗品が無難で
すし、おひらとした謝意をこめる
にふさわしいのではないでしょう
か。またお年寄りには、柔軟剤
や植物など、ムードにつら
れて一人よがりなものを選ぶと失
敗します。

本当にお中元をねざめが参考
して贈るということは少なく、店
から届けさせる向きが多くなるま
で、そのような場合は必ず名
刺を入れ、別にハガキで、送った
旨を知らせるのが礼儀です。苗労
して選んだ品物でも、送りっぱな
しだらこちらの気持ちの半分も先
方に通じないことになりがち。ま
た若い人々、何のお祝のために
送ったのかを尋くことも、つき
りしてじてことと思ひます。どう
いう理由であつたかと相手に頭
をかしづかせるよりでは、贈物の
意味をほしません。

またもつた方は、たゞえあら
う理由が明らかでも、必ずお詫状
を出すのを忘れないように。当然
以前のことながら、忙しい生
活をしてくると、とかくこうした
ことを忘れることがありますから。

なお、いままでお中元のやりと
りをしていて今年は必ず場合も
その旨を直々にハガキなり手紙に
書いて、今後ともよろしくとあい

送二た旨の通知と礼状を

ヒリトに「立れて選はないよう

お中元の
三 テグツ

卷之三

花材のとり合わせは、花しょうぶと蟹やなぎをつかって、すっきりした清涼感を出すため、季節的にも花より葉を高くして、ノビノビとした感じを出してみました。

（一頁から二三行）
の國のようへ、演奏が終りもしないのに拍手したりするあれはいらないらしい。
話がつい長くなってしまった

台所の悪臭ふせぎ

10

卷之三

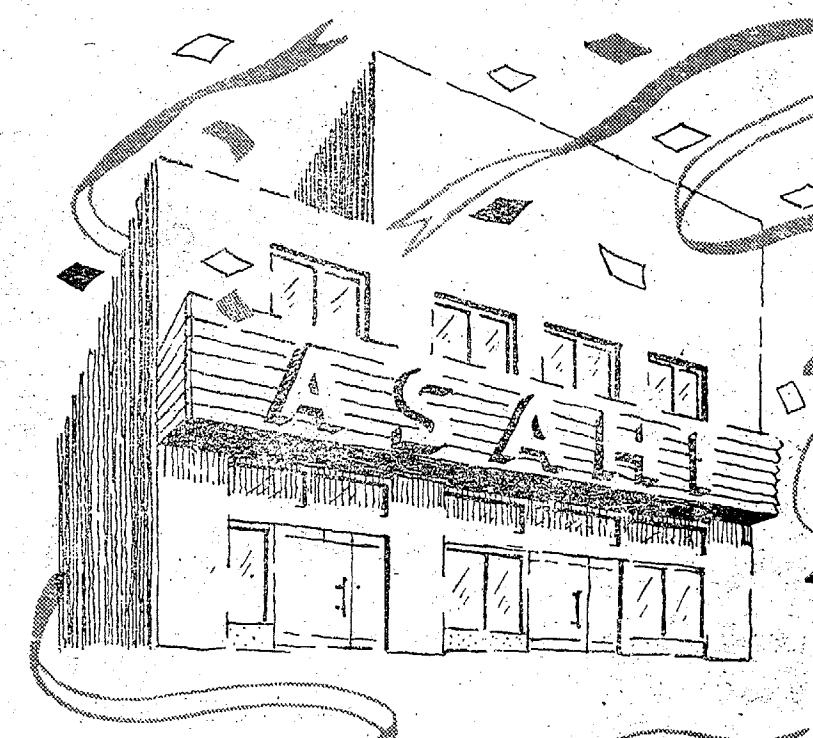
卷之三

卷之三

第三回

卷之三

平に生まれたテラックスホール



本店

午後4時
正午
午前9時

●最高の出率を誇る! パチンコ **あさひホール**

